

生活指導だより

平成26年3月10日

練馬区立大泉北中学校

次のステップへの準備はできていますか

今年度も残すところ僅かになりました。この1年間色々なことがあったと思います。その中で皆さんはどのように成長できたでしょうか？4月から、朝礼などで人間関係のこと（いじめ）のことを話してきました。誰もが安心して安全に楽しく生活できる大北中になりつつあると実感しています。この流れを次のステップに生がせるように、次のことに留意して生活しましょう。

1 自他の生命を尊重する思いやりの心を大切にするとともに、ルールやマナーを再確認しましょう。

- ・4月から新たな環境での生活が始まります。希望を持って臨むために、自分が挑戦したいことや目標をもってください。同時にあなたの周りの人も同じように希望をもって生活しようとしていることに気付いてください。
- ・あなたが生活する場所（社会・家庭・学校など）でのルールやマナーを再確認してください。今までよりできることが増え、行動範囲も広がってきました。その分責任も増えてきました。「知らなかった」では済まないこと、「これくらいはいいかな」など軽い気持ちは通用しなくなります。
- ・新しいことへの希望と同時に不安も出てきます。不安を解消したり、小さなものにするためには、誰かに相談することが一番です。自分一人で悩まずに話してみてください。



2 安全に生活するために、身の回りの危険について確認しよう。

- ・不審者による危害、性被害、誘拐などニュースで報道されます。先日も千葉県柏市での事件がありました。いつ、誰が事件に巻き込まれるか分かりません。自分の生活エリアをチェックし、危険を回避する努力をしましょう。
- ・いつ起こるか分からないことに大地震があります。緊急時の家族との連絡方法や対処方法を確認してください。練馬区の小中学校はすべて一時避難所になっていますので、避難が必要な時はどこへ避難するかも決めておくといいと思います。
- ・自転車運転でのわき見や、一時不停止、整備不良、ながらスマホなど、ちょっとした気の緩みから交通事故に遭ってしまうことがあります。自転車を運転している時は、自分の身を守ることと同時に、他者への責任も負っていることを意識しましょう。



- ・学年が上がることで、携帯電話やスマホを所有できたり、新たな交友関係ができたりします。便利な道具ですが、使い方を間違うととても恐ろしい道具にもなります。ニュースでも、スマホの普及に伴い女子の性被害が拡大していると伝えていきます。家族で使い方を話し合い、自分の身を守るとともに、人に嫌な思いをさせない注意をしてください。
- ・いかにも存在するような役職や名前を名乗り、クラス名簿や電話連絡網の個人情報を狙っている人がいます。絶対に教えないようにしてください。

3 生活リズムが乱れないようにしましょう。

- ・春休みなど友だちを出かける場合があると思います。そこで他校生と知り合いになり、さらに行動範囲（場所・時間）が広がり、夜遅くの散歩、深夜徘徊、無断外泊につながり、喫煙、飲酒、万引きなど犯罪行為に結びついてしまう場合もあります。一人ではできない（やらない）ことも、何人か仲間がいるとやってしまうことがあります。外出時の約束など家族で確認してください。

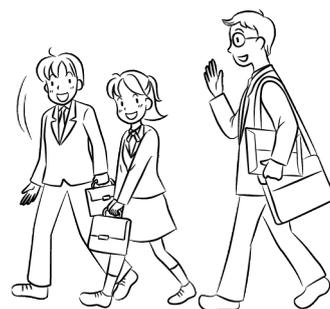
4 何かあった時には学校にも連絡を入れてください。

- ・事件や事故に遭ってしまった。その場合の最優先連絡先は、「110番」「119番」「家族」です。その後、学校（03-3925-9230）にも連絡を入れてください。

あいさつについて

あいさつを人間関係作りの基本として、生徒会役員会を中心に全校で取り組んできました。取組の成果を実感できているでしょうか。学校公開などで来校された方からも、「あいさつをよくしてくれて、校内の雰囲気が良いと感じます。」など好評価をいただきます。反面、校外では、まだ進んであいさつができていないようです。地域も皆さんの大切な生活エリアです。ご近所の方、お世話になった方などには、進んであいさつをしましょう。少なくとも、あいさつをされたら必ず返礼しましょう。

皆さんも自分があいさつをしたのに、相手に無視されたら嫌な気持ちになりますよね。



弁護士の先生によるいじめ防止授業より

3月4日（月）に、青少年育成大泉北地区委員会とのタイアップで、東京弁護士会所属の弁護士の先生によるいじめ防止授業が行われました。中学生にも分かりやすい言葉や例を準備していただき、内容のある授業となりました。授業の様子からいくつか紹介します。



- ・人権とは、「誰もが安心して、自信をもって、自由に生きる権利」です。
- ・いじめの関係の中で、被害者には一切悪いところはありません。
- ・「嫌だな」という気持ちが少しずつ溜まり、最後に溢れる時に自殺という形なることがある。
- ・人間関係をドラえもんの登場人物で考えると、いじめをさせないために、スネ夫くんや静香ちゃんの言動・行動が大切です。

また、過去の重大事件から「葬式ごっこ」を取り上げ、その時の被害者の気持ちや加害者の気持ちについても考えました。これはいじめが自殺につながってしまった話でみんな少なからずショックを受けたようでした。心に受けた衝撃が、その時だけのこととならないように、今後もしじめについて考えていきます。

生徒の様子から

今年度は、地域の方から生徒の下校の様子についていくつかご意見をいただきました。良くない方では、「あまり車が通らない道だが、道一杯に広がって歩いているので注意して欲しい。」「数人でボールを蹴りながら歩いていて、家の窓にボールを当てて知らんぷりで行ってしまった。」「人の家の前で長いこと大きな声で話していて迷惑だ。」「小さい子が頑張って作ったかまくらを壊して行ってしまった。」などです。良い方では、「荷物を持って苦労していたら、荷物を持ちますよと声を掛けてくれて、とても助かりました。」というお礼の電話でした。学校にはたくさんの生徒がいますが、地域に出ると一人一人が大北中生として見られています。このことに気付いていましたか？



保護者の皆様へ

今年度も本校へのご理解・ご協力ありがとうございました。本校では中学生の今、身に付けて欲しい知識、心のあり方、健康、危険に備えることなどを教育計画に基づいて指導しております。学んだこと、知識として得たことが、実生活の中で生かされてこそ本当に自分のものになったと言えると思います。そのためには、ご家庭、地域の皆様との連携が欠かせません。保護者の皆様もお忙しいこととは思いますが、次年度も学校公開日などには、ぜひ、ご来校ください。

本校は来年度、大泉第一小学校・大泉北小学校・と共同で小中一貫教育を進めて参ります。今までにもまして地域の中の学校として取り組んでいきますので、今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

☆学校へのご意見などございましたらお願いします。☆（切り取ってご使用ください。）